

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	依存症対策支援事業			事業番号	011-269
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	こころの健康センター 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築	
			有	取組の方向性	⑤ 依存症対策の強化			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5	
			有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							
3	事業開始年度			平成 30 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第六条（精神保健福祉センターの設置）							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等) 出先機関						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)					対象数	単位
	依存症で悩む市民、依存症支援に携わる関係者、依存症当事者・家族会					—	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態) 依存症で悩む市民、携わる関係者を支援することで、依存症からの回復をめざす。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
精神保健福祉法第六条に基づき、事業を実施。 1. 専門相談事業 ① 薬物依存症相談 薬物依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。治療回復プログラム、家族教室を行う。 ② ギャンブル等依存症相談 ギャンブル等依存症に悩む本人、その家族に対し、個別相談の実施。回復プログラム、家族教室を行う。 2. 地域関係機関への技術指導、教育研修 依存症に関わる支援者に対し、研修を実施し、依存症に対する知識を深める機会を提供する。 3. 組織育成事業 家族会、当事者会と連携し、依存症に悩む当事者及び家族を支える支援を行う。							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	目標値	1,000	1,000	1,100		
		実績値	1,289	1,896			
		達成率	129%	190%			
当該指標を選定した理由		依存症支援において、まず支援の場、機会、窓口を十分に提供していくことが最重要であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		専門相談、教育研修、技術支援及び関係機関との調整会議など各事業の実施回数の合計					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の利用者数	人	目標値	500	500	500		
		実績値	352	325			
		達成率	70%	65%			
当該指標を選定した理由		市民の利用状況が実施事業の活性度等の活動状況を示す指標と考えるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		相談件数、教育研修、技術支援及び関係機関との調整会議など各事業の利用者数の合計					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策支援事業	事業番号	011-269
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,303	1,270	2,777	1,180	8,964
13 財源内訳					
国支出金	998	477	1,262	536	4,308
府支出金					0
市債					0
その他 ()					0
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	305	793	1,515	644	4,656
14 人件費 (b)	16,200	10,250	16,400	16,400	16,400
15 年間経費(c)=(a)+(b)	17,503	11,520	19,177	17,580	25,364

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち 一般財源	項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	医師報酬	R3	決算	672	336	費用弁償 (通勤費)	R3	決算	0	0
		R4	予算	672	336		R4	予算	312	156
	会計年度任用職員報酬	R3	決算	0	0	消耗品費	R3	決算	150	76
		R4	予算	5,971	2,987		R4	予算	135	70
	期末手当 (会計年度任用職員)	R3	決算	0	0	印刷製本費	R3	決算	39	20
		R4	予算	1,238	620		R4	予算	0	0
	謝礼金	R3	決算	213	107	研修会等参加負担金	R3	決算	98	98
		R4	予算	276	139		R4	予算	173	173
費用弁償 (その他)	R3	決算	3	2	その他 (旅費等)	R3	決算	5	5	
	R4	予算	24	12		R4	予算	163	163	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		1,289	1,896
17 ① 専門相談、教育研修、技術支援、普及啓発など各事業の実施回数	回	1,289	1,896
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,520	17,580
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,937	9,272
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、事業及び研修の中止をせざるを得ない状況が続いたため、成果指標である実施回数は減少したと考える。一方、活動指標である利用者数は前年度に比べ増加し、依存症支援の基本である「つながり、支援する」ことは達成でき、当事者や家族の依存症からの回復に寄与している。</p> <p>対面にかわりWEBによる研修を実施した。新型コロナウイルス感染症まん延状況においても、柔軟に対応できる体制を構築した。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>依存症と自殺は関連が深いと言われている。KPI指標である令和2年の自殺死亡率は、新型コロナウイルス感染症や芸能人の自殺による影響により、前年と比べ増加している。依存症支援の「つながりつづける」支援は、孤独を防ぎ、かつ継続した支援が今後の自殺死亡率の減少に寄与すると考える。</p> <p>回復プログラム、家族教室などの集団支援事業は、コロナ渦において延期や人数制限を設けての実施となったが、参加者は途絶えることなく、依存症からの回復の一助となっている。</p> <p>当事者会、家族会とも連携することで、当事者、家族が自助グループを利用する橋渡しの役割を果たし、依存症対策の推進に寄与した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、対面による研修は実施できなかったが、WEBの活用など新たな方法により研修を実施したことは、世情に応じた効果的な対応及びセーフティネットの構築に寄与した。</p>
----	--